

SharePoint標準で提供されるモダンUIフォーム(power Apps版)で任意列の非表示方法は、リストコンテンツタイプの列属性を「任意」⇒「隠しファイル」に設定する事で、表示されなくなりますが、この設定は、「コンテンツタイプ」「集計」列への設定はできません。

従って、モダンUIフォーム(power Apps版)に対して考えられる簡単な表示制御方法は、「JSON」設定での対応になります。

以下の列属性を「任意」⇒「隠しファイル」に設定できない列への設定方法を説明します。

- (1) コンテンツタイプ 列の非表示方法
- (2) 集計 列の非表示方法

## (1)コンテンツタイプ 列の非表示方法

フォームに複数のコンテンツタイプが定義されていると、既に任意のコンテンツタイプで投稿したデータを別のコンテンツタイプに変更できてしまい、最悪の場合、列情報が見えなくなったり、投稿したデータの破損によって閲覧ができなくなる可能性も無いとは言えません。この対策案として「コンテンツタイプ列の非表示ですが、「簡単にはできない」と言われていたので、その方法を確認してみました。

★クラシックUIは、スクリプトエディターWebパーツでユーザー要望に合わせたカスタマイズが可能です。

【スクリプトEditorWebパーツへの設定コード例】←1行の定義で表示が可能

```
<style>
  <div class="ReactFieldEditor" style="visibility: hidden;" data-automationtype="clientFormField"></div>
</style>
```

【使用権提供済の共通部品の設定例】←1行の定義で表示が可能

```
<script type="text/javascript">
  $(document).ready(function(){ SPUtility.GetSPField('Content Type').Hide(); });
</script>
```

★モダンUIの簡単な表示設定は、基本、JSONでしかできませんので、JSON構文の知識が必要で難易度が少し高くで大変かと思います。

JSONの書式は以前、共有させて頂いた以下のメモをみれば記載方法イメージを参照してください。

⇒「 SPO豆知識⑨\_SharePointリストの書式設定(JSON) チートシート.xlsx」

以下に、ブラウザでフォームでのコンテンツタイプの非表示の設定から以下の方法「style書式でのjsonの設定例」を考えました。

※以下のJSONコードの動作検証はしていません。(フォームのボディ部に追加可能か否かの検証をしていません。)

```
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/json-schemas/sp/v2/column-formatting.schema.json",
  "elmType": "div", "txtContent": "コンテンツ タイプ", "style": { "height": "0px"; "visibility": "hidden"; }
}
```

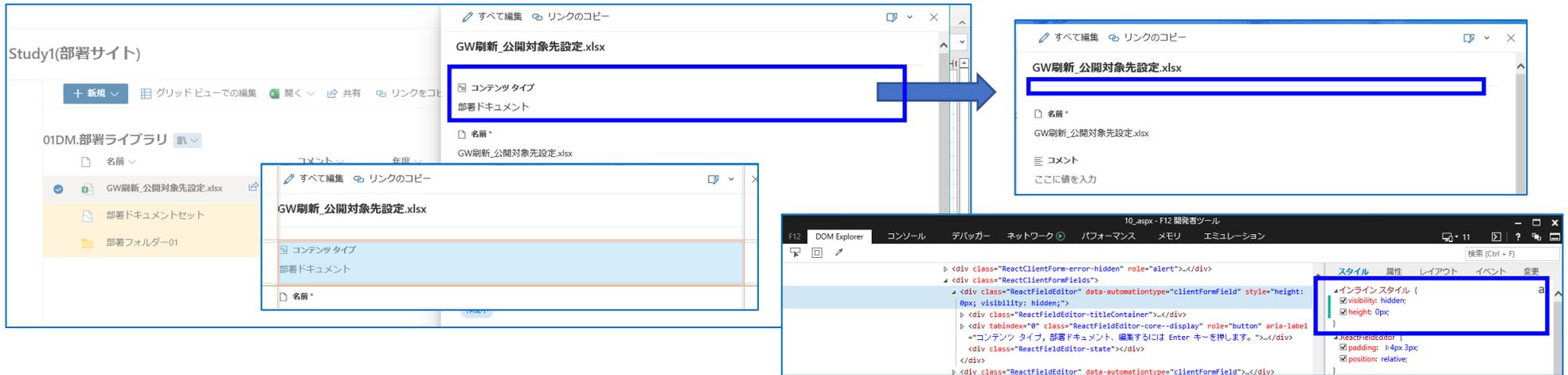
# モダンUIフォームで任意列の非表示方法

## (1)コンテンツタイプ 列の非表示方法 -続き- ★ブラウザでの設定内容の確認「編集フォームの設定結果」【参考】

```

<div class="ReactFieldEditor" style="visibility: hidden;" data-automationtype="clientFormField">
  <div class="ReactFieldEditor-titleContainer">
    <i class="ms-Icon ReactFieldEditor-titleIcon root-273" aria-hidden="true" data-icon-name="ProcessMetaTask">•</i>
  </div>
  <div tabindex="0" class="ReactFieldEditor-core--display" role="button" aria-label="コンテンツ タイプ, 部署ドキュメント, 編集するには Enter キーを押します.">
    <div class="od-FieldRenderer-text fieldText_f2aefce3" dir="auto">部署ドキュメント</div>
  </div>
  <div class="ReactFieldEditor-state"></div>
</div>

```



### ★JSON設定でのコンテンツタイプ 列の非表示検証

2022/11時点では、上記の<div class> 指定での非表示設定が期待通りの設定ができない。

## (1) コンテンツタイプ 列の非表示方法 -続き- ★ブラウザでの設定内容の確認「編集フォームの設定結果」【参考】

```

<div class="ReactFieldEditor" style="visibility: hidden;" data-automationtype="clientFormField">
  <div class="ReactFieldEditor-titleContainer">
    <i class="ms-Icon ReactFieldEditor-titleIcon root-273" aria-hidden="true" data-icon-name="ProcessMetaTask">•</i>
  </div>
  <span class="ReactFieldEditor-core--edit is-noDescription" aria-label="">
    <div class="ms-Dropdown-container">
      <div tabindex="0" class="ms-Dropdown dropdown-280" id="Dropdown361" role="combobox" aria-expanded="false"
        aria-haspopup="listbox" aria-required="false" aria-label="コンテンツ タイプ, 部署ドキュメント フィールドのエディターです。" data-is-focusable="true">
      </div>
    <div class="ReactFieldEditor-fieldDescription"></div>
  </span>
  <div class="ReactFieldEditor-state"></div>
</div>

```

The screenshot illustrates the SharePoint interface for editing a document's content type. The document is 'GW刷新\_公開対象先設定.xlsx'. The content type is '部署ドキュメント'. A blue box highlights the 'コンテンツタイプ' selection, and an arrow points to a detailed view of the content type settings. A code editor at the bottom shows the JSON configuration for the field, with a blue box highlighting the 'visibility: hidden;' property in the 'ReactFieldEditor' class.

## ★JSON設定でのコンテンツタイプ 列の非表示検証

2022/11時点では、上記の<div class> 指定での非表示設定が期待通りの設定ができない。